

タイトル 3つの廊下と大きなワンルーム

タイプ 持ち家共同建て

構造 鉄骨鉄筋コンクリート造

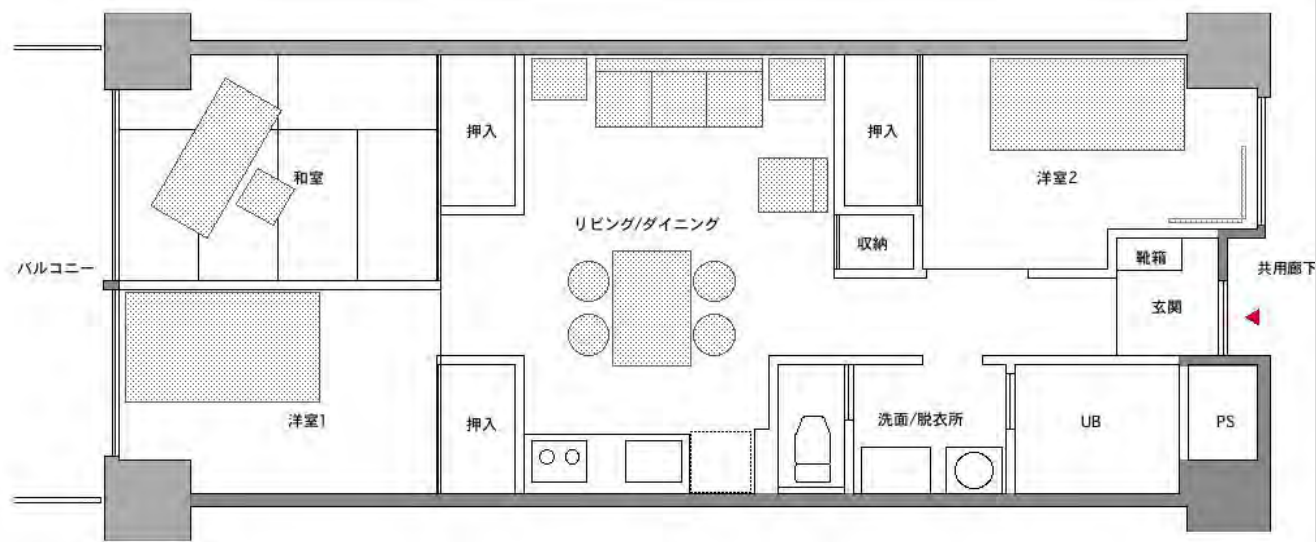
講評

リビング・ダイニングと玄関ホールとの間に、多様な機能をもつ「廊下」空間を3つ設け、リビング側にフレキシブルな建具を設けることにより、通風・採光・収納等の問題をうまく解決している。住まい手の要望に応える、優れた提案である。

リフォーム・リノベーション前後の写真

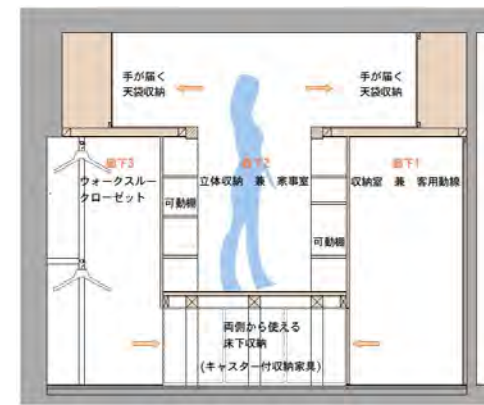
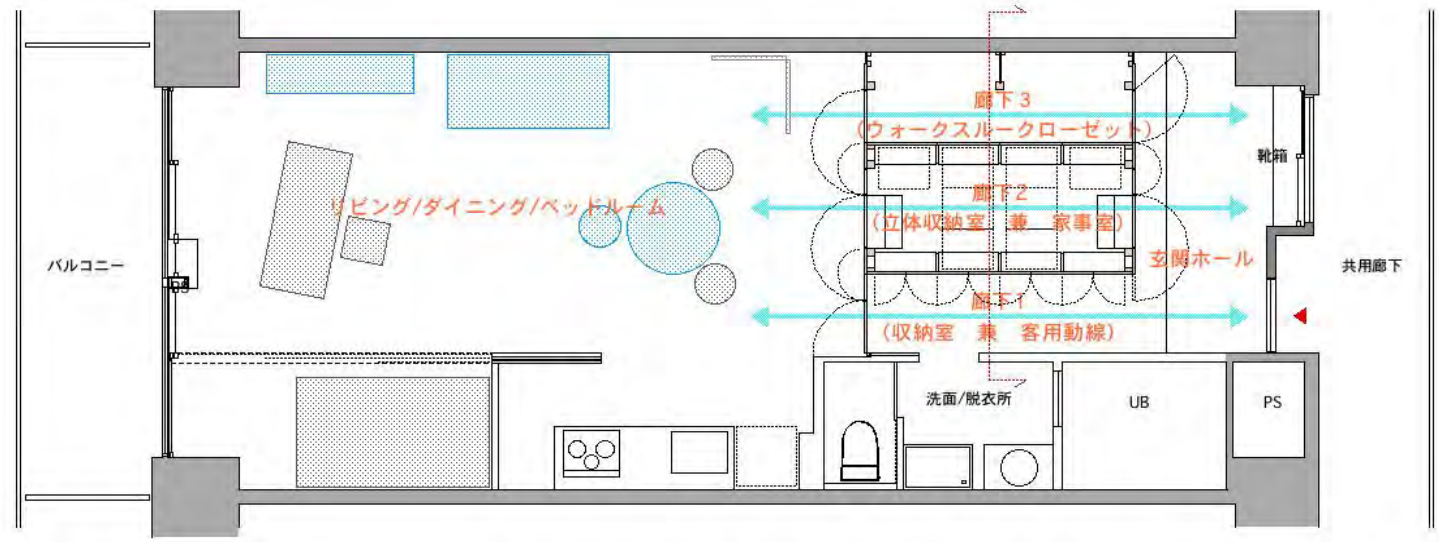


リフォーム・リノベーション前（平面図（必須）、その他従前の特徴を表す図面等）



■玄関付近と西側個室に挟まれた真ん中の光・風が抜けない真っ暗なリビング・ダイニング・キッチンが、日中クライアントが主に過ごす部屋である。また、個室は捨てられないモノであふれている。
友人を招くこともできず、とても老後の生活を楽しめる要素がない。

リフォーム・リノベーション後（平面図（必須）、展開図などデザインの特徴を表している図面等）



◀ 3つの廊下と立体収納部分の断面図
2.75mの天井高を利用して、中央の廊下を0.69m上げ、その下に両側から使える床下収納を。その上には手が届く天袋収納を両側に作り、モノが捨てられない高齢者の収納を確保した。

提案された住まい方やまちへの貢献に関するデザイン上の工夫など

新築の集合住宅が日々供給されていく都心では、築年数の古い中高層の集合住宅はプランニングの古さ、周辺環境の悪化により、良好な住環境とは言い難い。だが、そこには長年培われてきたコミュニティがあり、それを簡単に断ち切ってまで引越すことを望まない高齢者が多く住んでいる。思い出の品の収納を確保しつつ、プライバシーとコミュニティを施主が自由に調節し、**風、光、人**が自由に通り抜ける、そんな空間を作り、**新しいコミュニティ**を形作ることが出来るように目指した。

デザインに反映した居住者（住まい手）のニーズ

ただの納戸と化してモノで溢れていた個室が最も陽の当たる側に位置していたにも関わらず閉じられたままであった。2.75mという天井高を生かして3つの収納付きの廊下を作る事で使われない部屋がなくなり**収納量**も確保できた。またサッシ内側にポリカッイン（透明）の木製二重サッシを設け、**断熱とプライバシー**を確保しながら**明るさ**も確保している。

居住者（住まい手）の感想

日中真っ暗なリビング・ダイニング・キッチンが明るくなった上、モノで溢れていた部屋がなくなり、友人を招ける広い部屋になった。風や光も抜けるようになり明るい老後生活を送っている。

データ

○所在地	大阪市北区	○築後年数	35年	○工事費	800万円	○工事期間	60日間	○設計会社	アトリエウルル一級建築士事務所	／ 担当者	眞柴一樹・河合美里			
○用途地域	商業地域	○敷地面積	26527.59㎡	○建築面積	9468.12㎡	○リフォーム部分	61㎡	○施工会社	株式会社 大和建设	／ 担当者	福永利宏			
○居住者構成	総人数 1人 / うち15歳未満 0人 / うち65歳以上 1人 / ペット 0	○性能向上の特性		<input type="checkbox"/> 耐震性能	<input type="checkbox"/> 高齢者等への配慮（バリアフリー）	<input checked="" type="checkbox"/> 省エネルギー対策								
<input checked="" type="checkbox"/> 単独		<input type="checkbox"/> 夫婦のみ		<input type="checkbox"/> 夫婦+子		<input type="checkbox"/> 親+夫婦+子（三世代）		<input type="checkbox"/> ひとり親+子		<input type="checkbox"/> 防犯性能		<input checked="" type="checkbox"/> 維持管理対策	<input type="checkbox"/> 室内空気環境	<input checked="" type="checkbox"/> その他（プライバシー）
<input type="checkbox"/> その他の親族（親族関係者のみ）		<input type="checkbox"/> 親族以外（シェア居住の場合など）		<input type="checkbox"/> その他										



タイトル 3つの廊下と大きなワンルーム